

国立高専における法人化問題検討の状況(第1回資料4 抜粋)

国立高等専門学校協会

4. 高専制度発展のためのキーワード

このようなビジョンを踏まえて、高専制度の発展を期するため、高専法人化の制度設計に当たっては、次の3点を重視すべきであると考ええる。すなわち、高専の個性化と活性化、教育研究の高度化である。各項目の意義と、その実現に向けての取り組みについてキーワード群を整理した。

(1) 高専の個性化

組織、予算、人事などの面で高専の裁量を大幅に拡大し、その組織運営面での多様化、個性化を推進する。

高専の個性が活かせる柔軟な組織編成

教員の多彩な活動を可能とする人事システム

明確な理念・目標の設定による各高専の個性の伸長

(例)

地域のニーズに応じた再編・重点化による学科の機動的編成

公務員制度の枠組みを離れた自由な裁量に基づく人事システムのほか、事務官、教官の枠を超えた多様な専門的人材(企画、知的資産の管理運用など)の育成

地域のニーズに応じた教員の新しい勤務形態の導入や社会人の登用などによる地域社会との連携と、教育研究環境の一層の充実と個性化

(2) 高専の活性化

高専の活性化を推進する。

顧客(学生、地域、近隣企業)重視の視点に立って、学外者の参画による社会に開かれた運営システムの実現

教員の教育研究業績、特に教育業績に対する評価手法の導入とインセンティブの付与
民間的経営の発想や思考プロセスを活用した明確な目的指向による迅速な意志決定等

(例)

業績評価に基づく給与等の待遇改善等のインセンティブの付与による組織の活性化

教学組織と事務組織の連携強化と双方の資質の向上(ファカルティ・デベロップメント : FD, スタッフ・デベロップメント : SD)

高専間における教員・事務職員・学生の流動性の拡大

財務システムの弾力化と外部資金導入(科学研究費補助金、奨学寄付金受け入れ、受託研究等の推進)による財務体質の強化

(3) 高専の教育研究の高度化

教育研究の高度化を推進する。

第三者評価による教育研究の質の向上と競争的環境の醸成

評価の結果に基づく重点的な資源配分の徹底

専攻科の拡充と技術科学大学等の大学院教育研究との連携強化

COOP(1.はじめに)の項参照)手法の確立と実践

(例)

活性化・高度化資金の設定

経常的運営費に加え、別途特別な資金の設定等による高専対象の研究費や大型施設・設備の整備等、高専独自の教育研究を支援する体制の整備

地域に根ざした共同研究の積極的推進による地域の活性化への貢献

地域におけるインターンシップやCOOPの拡充などによる高専教育への地域の積極的参画と、地域産業と学生の相互的支援制度の拡充(特に専攻科)

専攻科生の能力を活用するTA制度導入など学生支援制度の強化と本科教育の充実、活性化、高度化